

## ＼もしものシミュレーション／ 知っておこう！ 119番通報

火災編

**指令管制員**：119番消防です。  
火事ですか？救急ですか？

**通報者**：火事です。

**指令管制員**：住所を教えてください。

**通報者**：〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号です。

**指令管制員**：近くに目印になる建物がありますか？

**通報者**：〇〇小学校の前です。

**指令管制員**：何階建ての何階が燃えていますか？

**通報者**：〇階建ての〇階が燃えています。

**指令管制員**：何が燃えていますか？

**通報者**：〇〇が燃えています

**指令管制員**：あなたのお名前と電話番号は？

**通報者**：名前は〇〇〇〇で、電話番号は  
〇〇〇-××××-▲▲▲▲です。

## リアルタイムで状況を伝える 「Live119」

映像を送信して現場の状況を伝えることができるシステムです。通報時に指令管制員から動画撮影を依頼することがあるので、協力をお願いします。



紹介動画

### Live119の操作手順



ショートメッセージ(SMS)を消防から送信



SMSを開く



受信したURLを  
タップして  
Live119を起動



注意事項の確認と  
カメラなどの使用許可  
を行い、撮影開始



※通信料は通報者負担です

指令管制員に  
聞きました

## 「一秒でも早く現場へ」

火事や救急など、助けを求める人の声を最初に受けるのが私たちの仕事です。通報者が慌てていることも多いので、「大丈夫ですよ、落ち着いてください」とゆっくり話し、安心してもらえるように心掛けています。

携帯電話からの通報は、通報者が現場の住所が分からないことも多いです。そんなときは「近くに何が見えますか？」と聞いて、相手の言葉をつなぎ合わせて現場を特定します。通報から出動指令まではおよそ60秒。正確な場所を素早く把握することに集中しています。



声で助けられる命がある。そう感じる度に、この仕事をしていて良かったと思います。とはいえ、火災や事故が起きないことが一番です。日頃から火の元に気を付けて、安心して暮らせるまちを一緒に守っていきましょう。



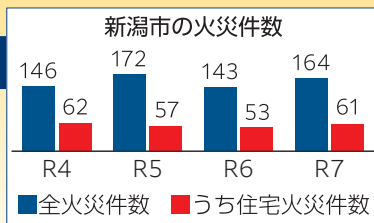
消防局指令課  
瀧澤

## 今すぐできる！火災の予防

日頃のちょっとした心掛けが火災を防ぎます。今すぐできる火災予防のポイントを確認しましょう。 消防局予防課 (☎025-288-3230)

### 令和7年の火災件数は「164件」

新潟市の火災件数は、前年より21件増加し、164件でした。冬は暖房器具を使用する機会が増えるため、火災が発生しやすくなります。特にストーブの取り扱いに注意しましょう。



## 火災から身を守る10のポイント

### 4つの習慣

- ① 寝たばこは絶対にしない、させない
- ② ストーブの周りに燃えやすい物を置かない
- ③ こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④ コンセントのほこりを清掃し、使わないプラグを抜く

### 5つの対策

- ① ストーブやこんろは安全装置の付いたものを使う
- ② 住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ③ 寝具や衣類、カーテンなどは防災品を使う
- ④ 家庭用消火器などを常備し、使い方を確認しておく
- ⑤ 避難経路や避難方法などを確認しておく
- ⑥ 地域の防災訓練などに参加する

### 出火原因ワースト1位は「電気関係」

「火災」といえば、たばこやこんろなどのイメージがありますが、普段使っている電気機器などが原因の「電気火災」が多く発生しています。身の回りの電気機器を点検し、日頃から安全を心掛けましょう。

### 出火原因 ワースト 5

- 1位 電気関係 (電気機器・配線など)
- 2位 たばこ
- 3位 こんろ
- 4位 放火(疑い含む)
- 5位 ストーブ

### ！ 電気火災を防ぐために

- ✓ たこ足配線をしない
- ✓ 電気コードを束ねない
- ✓ 傷んだコードを使わない
- ✓ 電気コードの上に物を置かない
- ✓ リチウムイオン電池は、落下などの強い衝撃を与えない

※リチウムイオン電池は、スマートフォンやモバイルバッテリー、電子たばこなどに使用されています。充電器は専用の物を使うなど、正しく使いましょう。